

教 智

東中だより

第291号

令和8年3月12日

生徒数758

伝統を引き継ぐ

3月6日に257名の三年生が東浦中学校を卒業しました。卒業式では担任の呼名に対しての生徒の返事、保護者からのメッセージが含まれた心温まる保護者代表祝辞、三年生への憧れや伝統を引き継ぐ決意が込められた在校生代表の送辞、後輩へ、保護者へ、教職員へ、そして同級生への思いがこもった卒業生代表の答辞、全てそれぞれの思いが伝わるものでした。そして、三年生が歌った卒業の歌「旅立ちの日に」は東浦中学校を巣立っていく三年生の気持ちが本当に伝わってきました。これまでに三年生が培ってきた東中の伝統が下級生に引き継がれていくと確信しました。私からは、卒業生の三年間の成長について話をさせていただきました。以下は卒業式校長式辞の一部抜粋です。

義務教育九年間を終え、新たな門出に立つ皆さんに、最後のメッセージとして伝えたい言葉があります。それは「自律的考動力」です。皆さんの三年間を振り返ってみると実に頼もしい姿が浮かんできます。授業の振り返りでは、自身の内面を見つめる素直な言葉が綴られていました。「面接練習で学んだ表情の管理」「仲間がいることの安心感」「入試を待つ時間の緊張感」「友からの手紙で得た落ち着き」。自分を客観的に見つめる皆さんの言葉に対し、級友からは「完璧を求めすぎないで」「満開になるまでの過程が大事だよ」といった、温かくも鋭い助言が贈られていました。自分だけでなく周りの友人のこともしっかりと考えられる、そんな素晴らしい集団に成長しました。行事においてもその力は発揮されました。体育祭は、チーム色が強くなり、縦割りチームをどのような団にしていけるかがよいかをよく考えていました。団長が中心となり競技の作戦、応援の方法など悩みながら考え、「自ら楽しむ」だけでなく「下級生をどう楽しませるか」、縦割りチームを導く一段階上の姿を見せました。また、町長一長たをゼンテーションを行った「中学生の主張」では、自分たちでテーマを決め取り組んできたことを、「なぜ」という疑問から「このようにしたい」「こうなってほしい」という身近な疑問を自分たちの生活に落とし込み、自分たちの考えを堂々と表現しました。こうした「自ら考え、判断し、表現する」積み重ねこそが、皆さんが身につけた「自律的考動力」です。箱根駅伝で知られる青山学院大学の原監督は、監督が指示を出すのではなく、選手自身が課題を見つけて動く「自律型」の組織作りを大切にしているそうです。皆さんは、すでにその準備ができています。明日からは担任の先生も、学年の先生も隣にはいません。自分で選択した道を、自分の足で進んでいくことになります。新しい環境では壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、今の皆さんなら大丈夫です。これから先、「自分はどうか考えるか」「どのように判断し、考動するか」を常に大切にしてください。自由には責任が伴いますが、それを自覚して行動できるのが「自律した大人」への第一歩です。



1年生・2年生の皆さんは今年度も残りわずかとなりました。卒業生から渡されたものを引き継ぎ、東浦中学校をよりよくしていけるように何が出来るか具体的に考えてほしいと思います。これが毎年繰り返されることによって、東浦中学校はより発展し、楽しく生活しやすい場になっていきます。よろしくお祈りします。

令和7年度 卒業式 保護者代表祝辞（抜粋）

本日ここに、晴れて卒業の日を迎えられました257名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまで深い愛情をもってお子様を支えてこられました保護者の皆さまに心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆さん、中学校で過ごした三年間はどうか。三年前、春の嵐と共に迎えた入学式、つい昨日のことのように思い出されます。あれからいろんな事があったと思います。勉強や部活動、そして体育祭や合唱コン、修学旅行などの学校行事。さまざまな挑戦を通して、自ら考え、仲間と協力し、困難を乗り越える力を身につけてきたことでしょうか。うまくいったことばかりではなかったはずですが。悔しさや不安を感じた日もあったことでしょうか。しかし、その一つ一つの経験こそが、皆さんを確実に強く、たくましく成長させたと思います。努力は決して無駄になりません。積み重ねた時間は、これからの人生を支える確かな土台となります。これから皆さんは、それぞれ新しい道へと進みます。新しい環境、新しい仲間、新しい挑戦が待っています。進むスピードはそれぞれ違うでしょう。夢に向かって一目散に駆けていく人もいれば、一步一步慎重に進んでいく人。時には進む道に迷い、立ち止まることもあるでしょう。そんな時は、どうかこの三年間で培った「最後までやり抜く力」と「支えあう心」を思い出して下さい。そして、自分の可能性を信じ、一歩を踏み出して欲しいと願っています。その願いは皆さんのお父さん・お母さん・ご家族も同じだと思います。ここで、親御さんから頂いたわが子へのメッセージをいくつかご紹介したいと思います。

- ・将来の夢もあるけど、今しか出来ないこともある。夢への遠回りは損じゃないよ。多くの経験ができるチャンスです。自分で選んだ道。先が見えなくなったら、一緒に前に進もう。
- ・高校でも「吹奏楽をがんばりたい！」と言ったあなたを私たちは全力で応援していくよ。
- ・まだまだ挑戦したい事たくさんあると聞いているので楽しんでね。
- ・高校でも自分らしく自信をもって、いろいろなことにチャレンジしてください。
- ・あなたが選んだ新しい制服で、新しい環境で、また新たな経験や思い出をたくさん作っていきましょうね。

代表して五名の親御さんからの愛情いっぱい話まったメッセージを読ませて頂きましたが、257名の卒業生、皆さんの親御さんも同じような気持ちだと思います。一番近くでわが子の成長を喜び、見守り、応援しているのが親なのです。親はいつでも子どもの味方です。

卒業生の皆さん、旅立ちの時です。身体に気をつけて、自分を大切に、輝ける未来への第一歩。いつから
東浦中学校PTA会長 長坂 浩美

卒業式

3月6日(金)、令和7年度卒業式を行いました。在校生からは「東浦中学校を大切に守りさらに素敵な場所にする」という卒業生に対する誓いの言葉が贈られました。卒業生からは、この三年間協力してきたように、「互いに支え合いながら明るい未来に向かって力強く進んでいきます」という力強い決意が述べられました。その後、卒業生、在校生ともに、心に響くすてきな歌を送り合いました。257名の卒業生の今後の活躍を期待し、エールを送りたいと思います。



愛校作業 (3年生)

2月26日(木)に愛校作業を行いました。教室、トイレ、体育館、昇降口など、それぞれの場所に分かれて、3年間使った学校の清掃活動を行いました。普段の清掃ではなかなか行き届かないところまで、きれいにしていました。



3年生を送る会

3月4日(火)に3年生を送る会を行いました。生徒会執行部が中心となって、企画・準備をしました。縦割り学級や部活動の後輩からのメッセージが送られました。また、懐かしい先生方からのメッセージも届きました。3年生からは、在校生へのお礼の気持ちを込めた合唱と紙飛行機のプレゼントがありました。



表彰

愛知県アンサンブルコンテスト知多地区大会

銀賞

第三十五回ヤマガク PC 入力スピードコンテスト 個人戦 優勝

第53回人権を理解する作品コンクール (知多地区)

標語の部 奨励賞

書道の部 奨励賞

ポスターの部 奨励賞